

橋の中央へ押される彼氏



橋の中央へ押される彼女



撮影の様子



市政 PICK-UP

237人、錦帯橋上で熱演

11月29日、岩国市の知名度向上を目指したプロモーションビデオの撮影が錦帯橋で行われ、公募により集まった多くの市民が息を合わせて踊りました。

11月16日から市内各地で撮影が進められ、今回はけんかしたカップルを岩国市民が協力し、錦帯橋の中心で再会させるというシーンが撮影されました。

参加者は錦帯橋の両端に分かれると、現代風にアレンジされた「岩国よいとこ」の音楽に合わせて踊ったり手拍子をしたり

市プロモーションビデオ撮影

と、笑顔で錦帯橋の上を進みました。

プロモーションビデオの制作は、昨年度の若手職員プロジェクトチームの提言から実現した事業で、庁内に「岩国市プロモーションビデオ制作チーム」を設置して会議を重ね、撮影が進められました。

撮影されたビデオは3月までに完成し、市ホームページや動画配信サイトなどで公開する予定としています。

関秘書広報課 ☎5016

皆に祝福される2人、その理由とは



笑顔で踊る市民



人権意識を高める

11月18日、市民会館で人権啓発フェスティバルが行われました。

中学・高校生から応募のあった作品の入賞者、学校賞の表彰が行われた後、作文・詩の部門で特選を受賞した生徒による作品の朗読が行われました。

表彰式と朗読の合間には、人権イメージキャラクターの「人KENまもるくん・あゆみちゃん」が登場し、人権の大切さや人権擁護委員の活動について説



▲会場に呼び掛ける「人KENまもるくん・あゆみちゃん」

人権啓発フェスティバル

明しました。

記念講演では、元プロ車椅子ランナーの伊藤智也さんが「命を輝かせる」を演題に、プロ選手時代の試合や海外でのエピソード、病気で車椅子となつてから感じたことなどを、時にユーモアを交えながら分かりやすく話しました。

参加者は人権問題に対する理解と認識を改めて深め、人権に対する意識を高めました。

人権課 ☎ 5010



▲「どんなことがあっても笑顔でいきましょう」と話す伊藤智也さん



▲案の発表を行う若手職員

「海」活用のまちづくり提案

11月20日、若手職員プロジェクトチームによる「地域資源『海』を活用したまちづくり」をテーマとした提言が、市役所で行われました。

チームは柱島班と由宇班の2つに分かれて5月から現地調査や内容の検討を行い、会議を重ねてきました。

柱島班は柱島漁業学校の設立、藻場の復元・育成による漁業振興や、休校中の学校の宿泊施設化などを提案しました。



▲提言書を福田良彦市長（右）に提出

若手職員プロジェクトチーム

由宇班は、みなとオアシスゆうでの春のアサリ掘り大会の開催、夏の海岸映画館、冬のクリスマスイルミネーションや海の幸を活用したご当地グルメの開発などを提案しました。発表後、チームから福田良彦市長に提言書が提出されました。

福田市長は「魅力的な提案が数多くあり、実現可能なものについては実施を検討したい」と講評を述べました。

行政経営改革室 ☎ 5029